

令和2年度入試（令和元年度実施）の情報開示  
出題意図について

入試の区分	社会人入試
学部学科等	経済学部「夜間主コース」
教科・科目名	その他／ 小論文
正解・解答例 又は出題 (面接)意図	(解答例) 別紙のとおり
備 考	

推薦入試 (A・B 推薦) / 社会人入試  
経済学部「昼間主コース」 / 「夜間主コース」

問題 1

[設問 1]

自分が自分 ～ と実感する。

[設問 2]

市場社会の原則：人が人を支配することをやめ、対等の者どうしが、それぞれの役割を果たすことで社会の秩序を維持していく

資本主義という経済システム：資本家と労働者という、あたかも身分のような人間関係が再現されている

[設問 3]

他者がまずいて、その他者との関係性が先に存在していない限り、個人の尊厳は成立しないのである。

[設問 4]

この例としてスマートフォンが考えられる。スマートフォンは一般的に広く普及し、コミュニケーションの手段や情報収集、またキャッシュレス決済の手段などとして高い頻度で利用されている。高価ではあるが、とりわけ若い世代では誰しもが持っているものと考えられている。そうしたことから、持たないと選択したのではなく、それを持ってないでいることは他人から「まともな人間」として見られず、自尊心を傷つけることとなりうる。

(199 字)

例えば流行のアニメグッズでも、こうした「必需品」として考えることができる。友人がみな持っていて日常的に話題の中心に挙げられているようなものを、自分だけが持っていないということは、自分が友達と異なり人並みの「まともな人間」として見てもらえないのではないかと思わされ、自尊心が傷つくことになりうるからである。

(161 字)

社会人入試

経済学部「夜間主コース」

問題 2

[設問 1]

(料理を手で触れたりつかんだりすることで経験する,) 楽しさや心地よさ, 味覚上の美味しさ。

[設問 2]

料理に手で触れることのポジティブな影響は大きく 2 つある。1 つは, 料理に手で触れるという非日常的な行為が消費者に楽しさや心地よさを経験させるというポジティブな影響である。もう 1 つは, 触れることで感じる料理の温度や質が味覚上の美味しさを高めるというポジティブな影響である。

(134 字)

[設問 3]

この事例において, 食品に手を触れないということが経験価値に及ぼす影響は 2 つあると考えられる。1 つは, ポジティブな影響である。従来手で触れて食べる食品に手を触れずに食べるということは, 非日常的な行為である。そのため, 手で触れずに食べることで, 消費者に楽しさや心地よさを経験させることができると予想され, 経験価値にポジティブな影響を及ぼすと考えられる。2 つ目はネガティブな影響である。手を触れずに食べることによって, 触れることで感じられていた食品の質を感じることは困難になる。そのため, 手を触れずに食べる場合の方が, 触れて食べる場合よりも味覚上の美味しさは低くなることが予想され, 経験価値にネガティブな影響を及ぼすことも考えられる。

(313 字)